

全国大会で大きく成長しました

上原君は全道大会500mで13位、1000mでも11位と好成績を記録し、1月に長野県長野市で開催された第30回全国中学校スケート競技会に出場しました。

小学校1年生の時、友達に誘われたのがきっかけで滑ってみたスピードスケート。夏はバドミントン部で活躍するなど運動大好きの上原君は、その楽しさにすっかり魅了され、一生懸命練習して、誰よりも速くなりたいと魂が燃え始めました。

全国大会では、ライバルがみんな強そうに見え、独特の雰囲気にもまれそうになりました。それでも、アップの上手なやり方や自分より速い人のフォームを研究。そして、何よりも、自分はまだ速くなれるという自信を得ることができ、実りある大会となったようです。



「また全国大会に出て、絶対勝つ！」自分の限界に挑み続ける上原君の、さらなる飛躍が楽しみです。



落石中学校2年
上原悠馬くん
Yuma Uehara

根室スピードスケート少年団

—Challenger—

オリンピック出場は夢で終わらせない

「目標は、オリンピック出場です。」と、眼を輝かせながら将来の夢を語ってくれた戸田亮太くん。

戸田くんは、1月の全国中学生スケート競技会に2年連続で出場し、500mでは39秒50で第7位という成績を納めました。

スケート王国北海道のレベルは高く、全道大会で第3位という成績で臨んだ全国大会。1000mは残念にも予選落ちという結果となり、優勝を目指した500mに臨むときにはプレッシャーが全身を駆け抜けたといいます。メンタル面の弱さを実感し、今後の課題として向き合っていきますと、中学校最後の大会に向けての本格的な練習に励んでいます。

練習会場の別海町までは、ご両親が車で送迎を行っています。「好きなことを続けられていれるのも、両親のおかげです。」と、



周りの方々の協力でスケートに打ち込めることの感謝も忘れません。

将来は子どもたちの指導にあたりたいと、スケートとのかかわりを大切にする戸田くん。平成23年開催の全国大会で、優勝に微笑む姿が見えました。



厚床中学校3年
戸田亮太くん
Ryota Toda

別海白鳥少年団